

会社説明資料

～ 2020年3月期 ～

Yamagata

Miyagi



きらやか銀行



じもと
HOLDINGS



仙台銀行

2020年6月19日



じもと HOLDINGS

1. 2020年3月期決算の状況

① 損益の状況	…	1
② コア業務純益の増減要因	…	3
③ 貸出金の状況	…	4
④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況	…	5
⑤ 預かり資産の状況	…	6
⑥ 有価証券の状況	…	7
⑦ 各種利回り・利鞘の状況	…	8
⑧ 経費・経営効率化の状況	…	9
⑨ 金融再生法開示債権の状況	…	10
⑩ 自己資本比率の状況	…	11
⑪ ROEの状況	…	12
⑫ 2021年3月期業績予想	…	13

2. 仙台銀行の取り組みについて

① 仙台銀行の経営戦略	…	14
② 中小企業向け貸出増強と本業支援	…	15
③ Sendai Big Advanceの取り組み	…	16
④ 個人営業・子会社の取り組み	…	17
⑤ IT活用・顧客利便性向上・業務効率化の取り組み	…	18
⑥ 新型コロナウイルス感染症対応	…	19
⑦ 本業支援事例	…	20
⑧ 魅力ある職場環境づくりの推進	…	21

3. きらやか銀行の取り組みについて

① 経営理念	…	22
② 本業支援の実績	…	23
③ 成長の為の本業支援 取り組み事例紹介	…	24
④ 福利厚生の本業支援「ふっくりパッケージ」のご紹介	…	25
⑤ 本業支援の強化に向けた取り組み	…	26
⑥ 新型コロナウイルス感染症対応	…	27
⑦ 本業支援の進化に向けて	…	28

4. じもとホールディングスの取り組みについて

① 新中期経営計画（全体像）	…	29
② 新中期経営計画（主な取り組み）	…	30
③ 宮城と山形をつなぐ	…	31
④ 新中期経営計画（計数計画と経営指標）	…	32
⑤ 本業支援によるESG・SDGsへの取り組み	…	33
⑥ ガバナンスの強化（2020年6月移行）	…	34



1. 2020年3月期 決算の状況

① 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2020年3月期	前年同期比	増減率	2019年3月期
連結経常収益	42,354	△ 496	△ 1.1	42,850
経常利益	2,571	△ 20	△ 0.7	2,592
親会社株主に帰属する当期純利益	1,733	103	6.3	1,630

- じもとホールディングスの連結経常収益は423億54百万円、経常利益は25億71百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は17億33百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

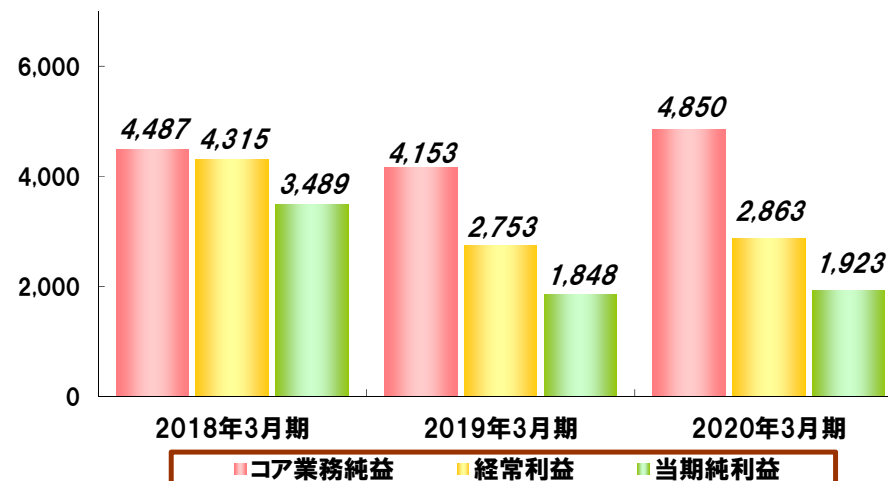
	2020年3月期	前年同期比	増減率	2019年3月期
経常収益	37,095	△ 191	△ 0.5	37,286
業務粗利益	28,236	△ 624	△ 2.1	28,860
資金利益	25,897	△ 747	△ 2.8	26,645
役務取引等利益	1,737	△ 282	△ 13.9	2,019
その他業務利益	601	405	206.6	196
うち国債等債券損益	△ 528	△ 241	-	△ 287
経費(除く臨時処理分)	23,914	△ 1,080	△ 4.3	24,994
うち人件費	11,827	△ 620	△ 4.9	12,448
うち物件費	10,283	△ 476	△ 4.4	10,760
実質業務純益(注1)	4,321	455	11.7	3,866
コア業務純益(注2)	4,850	696	16.7	4,153
除く投資信託解約損益	3,810	1,056	38.3	2,753
一般貸倒引当金繰入額	983	828	536.6	154
業務純益	3,338	△ 372	△ 10.0	3,711
臨時損益	△ 475	483	-	△ 958
うち不良債権処理額	589	△ 951	△ 61.7	1,541
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 436	△ 813	-	377
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 393	-	393
うち株式等関係損益	△ 156	△ 772	-	616
経常利益	2,863	110	4.0	2,753
特別損益	△ 343	46	-	△ 390
当期純利益	1,923	74	4.0	1,848
与信関係費用	1,534	234	18.0	1,300

(注1) 実質業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益＝実質業務純益-国債等債券損益

- 2行合算の経常収益は、前年同期比1億91百万円減少の370億95百万円(増減率△0.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が減少したことなどから、前年同期比6億96百万円増加の48億50百万円(増減率16.7%)となりました。
- 経常利益はコア業務純益の増加や不良債権処理額の減少などにより前年同期比1億10百万円増加の28億63百万円、当期純利益は前年同期比74百万円増加の19億23百万円となりました。なお、新型コロナウイルス感染症関連の影響を踏まえ、予防的に引当金を一部計上しております。

(単位:百万円)



① 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2020年3月期	前年同期比	増減率	2019年3月期
経常収益	20,732	△ 364	△ 1.7	21,097
業務粗利益	16,919	28	0.1	16,891
資金利益	14,487	△ 362	△ 2.4	14,850
うち貸出金利息	12,346	△ 99	△ 0.8	12,446
うち有価証券利息配当金	2,278	△ 371	△ 14.0	2,650
役務取引等利益	1,379	△ 74	△ 5.1	1,454
その他業務利益	1,052	465	79.3	586
うち国債等債券損益	△ 60	△ 74	-	13
経費(除く臨時処理分)	13,518	△ 821	△ 5.7	14,339
うち人件費	6,575	△ 501	△ 7.0	7,077
うち物件費	5,981	△ 325	△ 5.1	6,307
実質業務純益(注1)	3,400	849	33.2	2,551
コア業務純益(※注2)	3,461	923	36.3	2,538
(除く投資信託解約損益)	3,063	953	45.1	2,110
①一般貸倒引当金繰入額	293	293	-	-
業務純益	3,107	555	21.7	2,551
臨時損益	△ 1,428	△ 623	-	△ 805
②うち不良債権処理額	868	313	56.5	554
うち個別貸倒引当金繰入額	250	250	-	-
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 393	-	393
うち株式等関係損益	△ 480	△ 320	-	△ 159
経常利益	1,678	△ 67	△ 3.8	1,745
特別損益	△ 30	248	-	△ 279
当期純利益	1,103	95	9.4	1,008
与信関係費用	1,124	963	598.5	160

(注1) 実質業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

- 経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億64百万円減少の207億32百万円(増減率△1.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が前年同期比で8億21百万円減少したことなどから、前年同期比9億23百万円増加の34億61百万円(増減率36.3%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額が増加したことから、前年同期比9億63百万円増加の11億24百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比67百万円減少の16億78百万円、当期純利益は前年同期比95百万円増加の11億3百万円となりました。

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	2020年3月期	前年同期比	増減率	2019年3月期
経常収益	16,362	173	1.0	16,189
業務粗利益	11,316	△ 652	△ 5.4	11,969
資金利益	11,409	△ 384	△ 3.2	11,794
うち貸出金利息	9,473	323	3.5	9,149
うち有価証券利息配当金	2,042	△ 734	△ 26.4	2,777
役務取引等利益	358	△ 207	△ 36.6	565
その他業務利益	△ 451	△ 60	-	△ 390
うち国債等債券損益	△ 467	△ 166	-	△ 300
経費(除く臨時処理分)	10,395	△ 259	△ 2.4	10,655
うち人件費	5,252	△ 118	△ 2.2	5,370
うち物件費	4,302	△ 150	△ 3.3	4,453
実質業務純益(注1)	921	△ 393	△ 29.9	1,314
コア業務純益(注2)	1,389	△ 226	△ 14.0	1,615
(除く投資信託解約損益)	746	103	16.1	643
①一般貸倒引当金繰入額	689	535	346.7	154
業務純益	231	△ 928	△ 80.0	1,160
臨時損益	952	1,106	-	△ 153
②うち不良債権処理額	△ 279	△ 1,265	-	986
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 687	△ 1,064	-	377
(貸倒償却引当費用①+②)	410	△ 730	△ 63.9	1,140
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	324	△ 451	△ 58.2	775
経常利益	1,184	177	17.6	1,007
特別損益	△ 312	△ 202	-	△ 110
当期純利益	819	△ 20	△ 2.4	840
与信関係費用	410	△ 728	△ 63.9	1,139

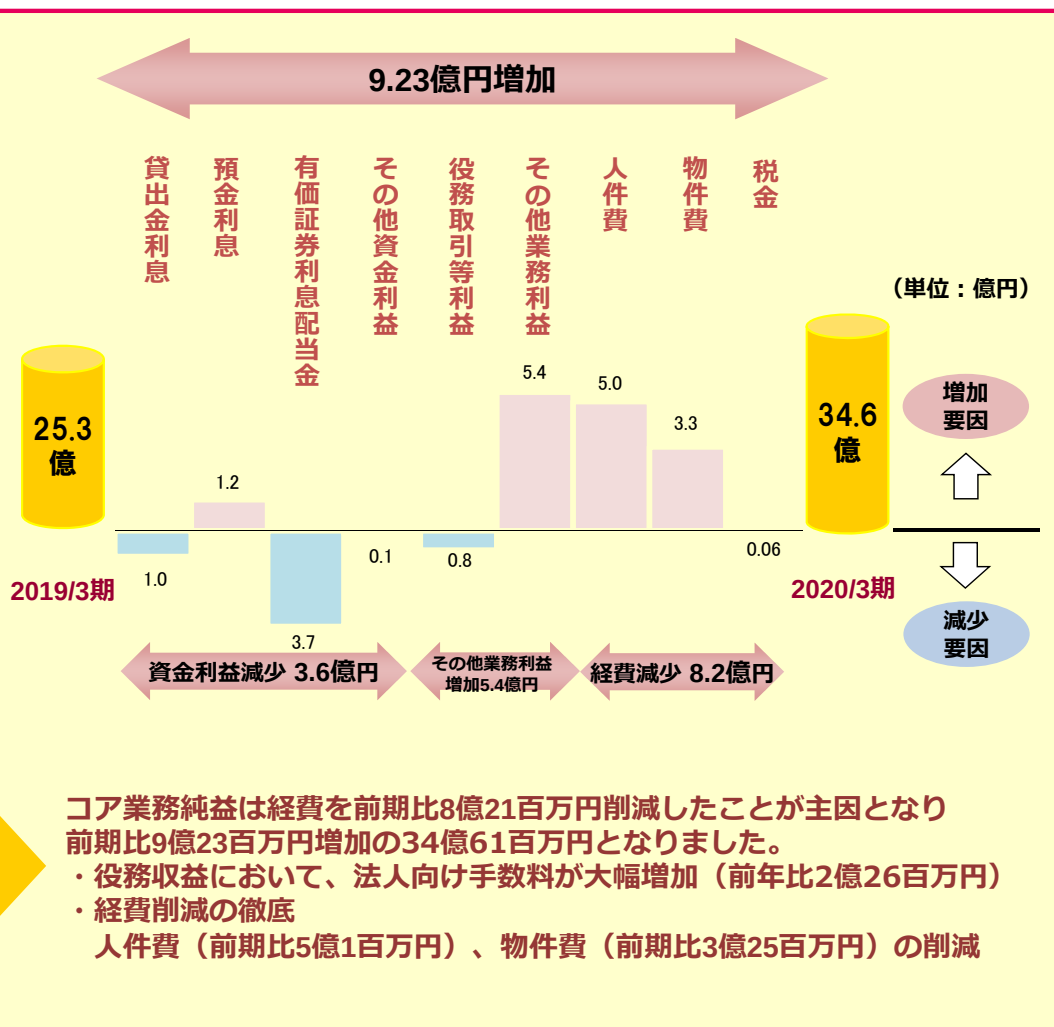
(注1) 実質業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

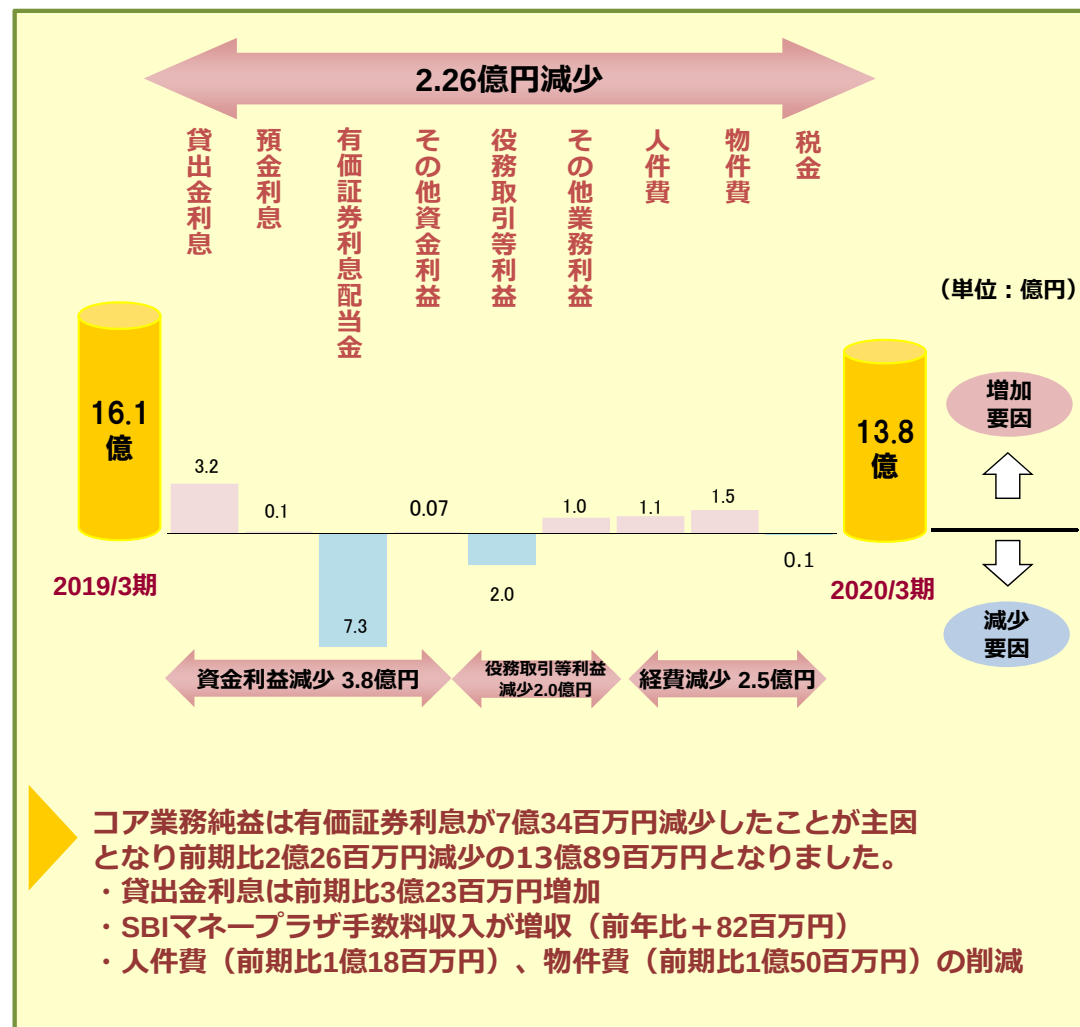
- 経常収益は、有価証券利息配当金、株式等売却益が減少したものの、貸出金利息、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比1億73百万円増加の163億62百万円(増減率1.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したことなどから、前年同期比2億26百万円減少の13億89百万円(増減率△14.0%)となりました。
- 与信関係費用は、不良債権処理額の減少により、前年同期比7億28百万円減少の4億10百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比1億77百万円増加の11億84百万円、当期純利益は前年同期比20百万円減少の8億19百万円となりました。

② コア業務純益の増減要因

① きらやか銀行

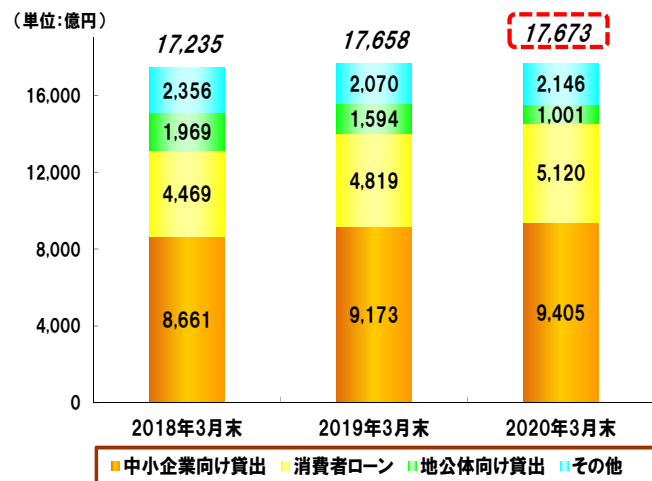


② 仙台銀行



③貸出金の状況

① 2行合算

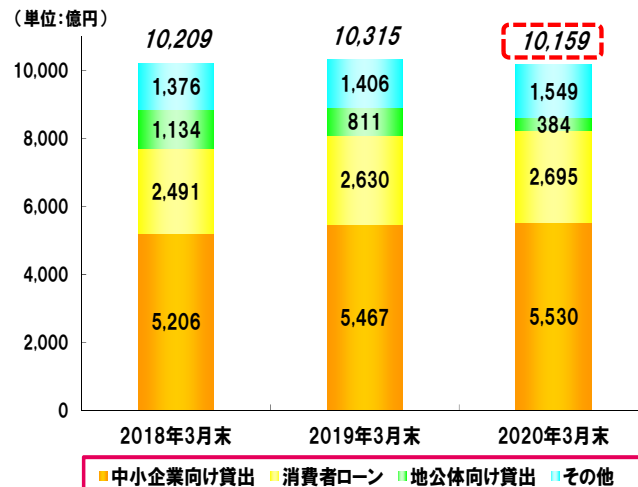


(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	1,767,398	1,574	0.0	1,765,823
うち中小企業向け貸出残高	940,563	23,210	2.5	917,353
うち消費者ローン	512,065	30,150	6.2	481,914
うち住宅ローン	467,585	28,893	6.5	438,692
うち地方公共団体向け貸出	100,159	△ 59,327	△ 37.1	159,487

- 2行合算の貸出金残高は、2019年3月末比15億74百万円増加の1兆7,673億98百万円となりました。

② きらやか銀行

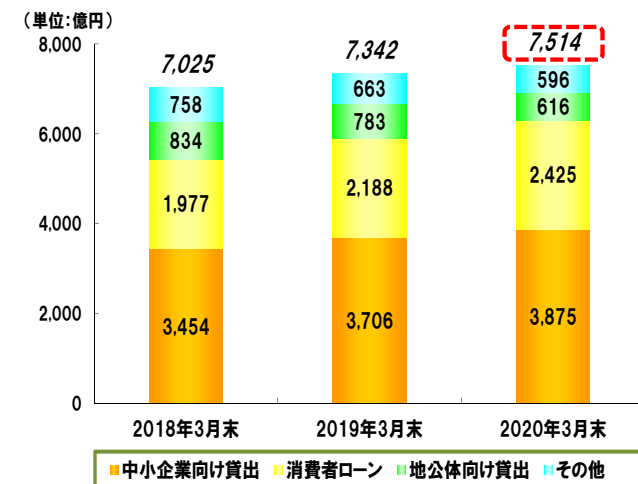


(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	1,015,921	△ 15,634	△ 1.5	1,031,556
うち中小企業向け貸出残高	553,005	6,300	1.1	546,705
うち消費者ローン	269,511	6,482	2.4	263,029
うち住宅ローン	252,096	6,293	2.5	245,802
うち地方公共団体向け貸出	38,480	△ 42,644	△ 52.5	81,124

- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、政策的要因により地方公共団体向け貸出が減少したことなどから、2019年3月末比156億34百万円減少の1兆159億21百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援の取組みを組織的に実施したことなどから、2019年3月末比63億円増加の5,530億5百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2019年3月末比64億82百万円増加の2,695億11百万円となりました。

③ 仙台銀行



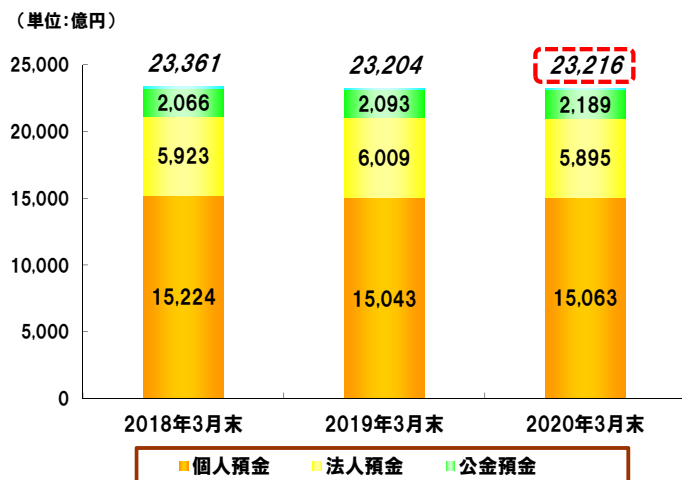
(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	751,476	17,209	2.3	734,267
うち中小企業向け貸出残高	387,558	16,910	4.5	370,648
うち消費者ローン	242,554	23,668	10.8	218,885
うち住宅ローン	215,489	22,600	11.7	192,889
うち地方公共団体向け貸出	61,679	△ 16,683	△ 21.2	78,363

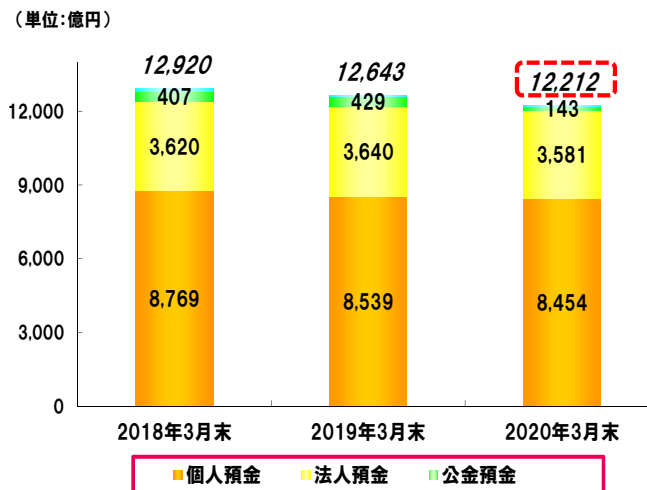
- 貸出金残高は、2019年3月末比172億9百万円増加の7,514億76百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応したことなどから、2019年3月末比169億10百万円増加の3,875億58百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、2019年3月末比236億68百万円増加の2,425億54百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2019年3月末比166億83百万円減少の616億79百万円となりました。

④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況

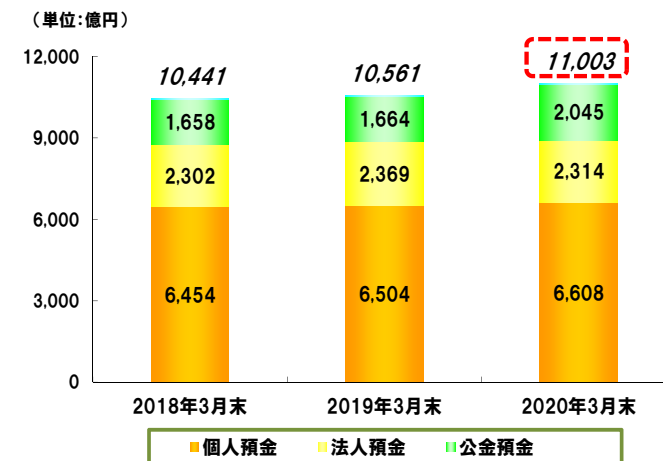
① 2行合算



② きらやか銀行



③ 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,321,629	1,133	0.0	2,320,496
うち個人預金	1,506,302	1,950	0.1	1,504,351
うち法人預金	589,598	△ 11,387	△ 1.8	600,985
うち公金預金	218,912	9,527	4.5	209,384

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,221,274	△ 43,025	△ 3.4	1,264,300
うち個人預金	845,464	△ 8,483	△ 0.9	853,948
うち法人預金	358,101	△ 5,981	△ 1.6	364,082
うち公金預金	14,374	△ 28,576	△ 66.5	42,950

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,100,355	44,158	4.1	1,056,196
うち個人預金	660,838	10,434	1.6	650,403
うち法人預金	231,497	△ 5,406	△ 2.2	236,903
うち公金預金	204,537	38,103	22.8	166,434

- 2行合算の預金残高は、2019年3月末比11億33百万円増加の2兆3,216億29百万円となりました。

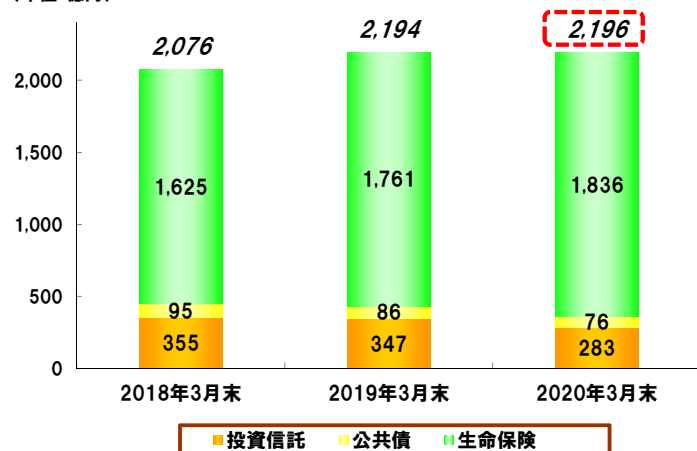
- 預金残高は、2019年3月末比430億25百万円減少の1兆2,212億74百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、2019年3月末比84億83百万円減少の8,454億64百万円となりました。
- 法人預金は、2019年3月末比59億81百万円減少の3,581億1百万円となりました。

- 預金残高は、2019年3月末比441億58百万円増加の1兆1,003億55百万円となりました。
- 個人預金は、2019年3月末比104億34百万円増加の6,608億38百万円となりました。
- 法人預金は、2019年3月末比54億6百万円減少の2,314億97百万円となりました。
- 公金預金は、2019年3月末比381億3百万円増加の2,045億37百万円となりました。

⑤ 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



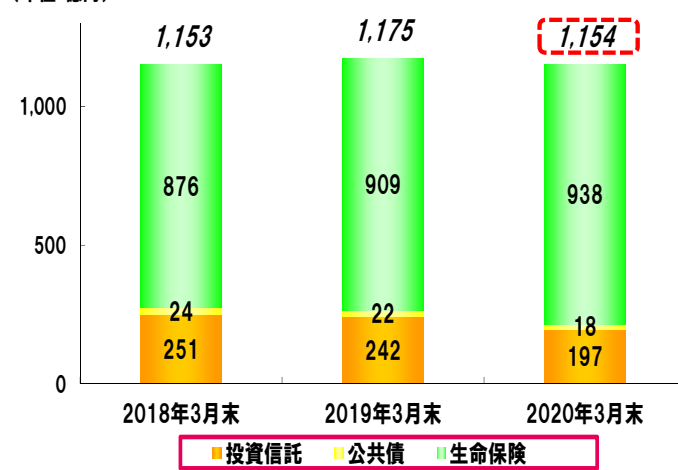
(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	219,613	179	0.0	219,433
うち投資信託	28,358	△ 6,356	△ 18.3	34,715
うち公共債(国債等)	7,653	△ 964	△ 11.1	8,618
うち生命保険	183,601	7,501	4.2	176,100

- 2行合算の預かり資産残高は、2019年3月末比1億79百万円増加の2,196億13百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



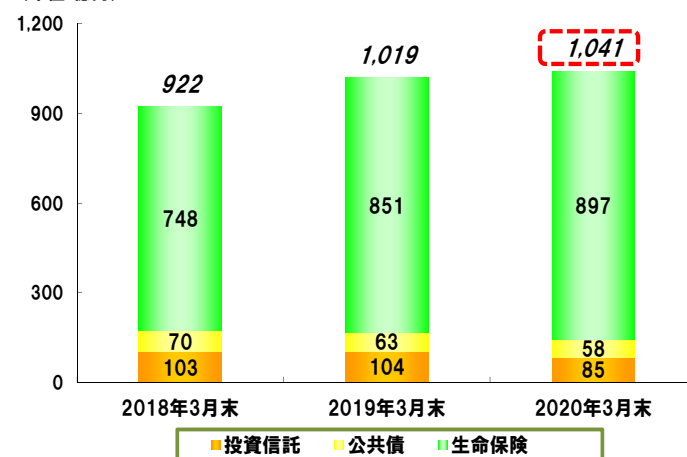
(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	115,422	△ 2,080	△ 1.7	117,503
うち投資信託	19,774	△ 4,512	△ 18.5	24,286
うち公共債(国債等)	1,833	△ 431	△ 19.0	2,264
うち生命保険	93,815	2,863	3.1	90,951

- 預かり資産残高は、2019年3月末比20億80百万円減少の1,154億22百万円となりました。
- 投資信託は、2019年3月末比45億12百万円減少の197億74百万円となりました。
- 公共債は、2019年3月末比4億31百万円減少の18億33百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応により、2019年3月末比28億63百万円増加の938億15百万円となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

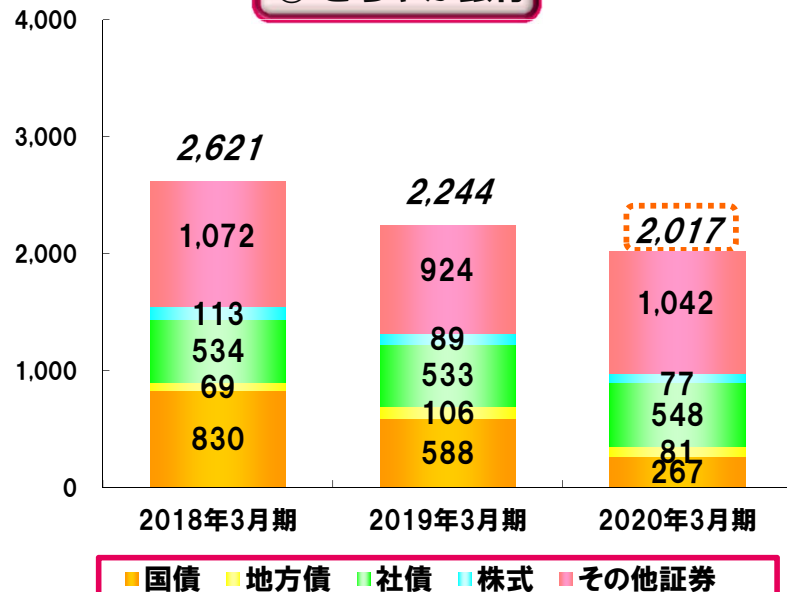
	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	104,190	2,260	2.2	101,930
うち投資信託	8,584	△ 1,844	△ 17.6	10,428
うち公共債(国債等)	5,820	△ 533	△ 8.3	6,353
うち生命保険	89,786	4,637	5.4	85,148

- 預かり資産残高は、2019年3月末比22億60百万円増加の1,041億90百万円となりました。
- 投資信託は、2019年3月末比18億44百万円減少の85億84百万円となりました。
- 公共債は、2019年3月末比5億33百万円減少の58億20百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、2019年3月末比46億37百万円増加の897億86百万円となりました。

⑥有価証券の状況

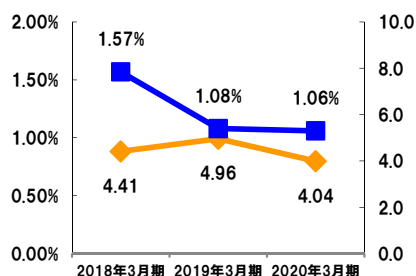
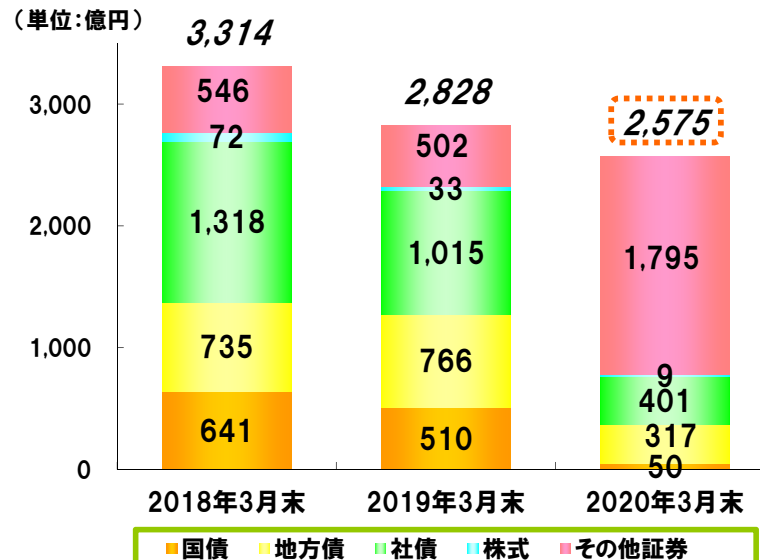
(単位:億円)

① きらやか銀行



② 仙台銀行

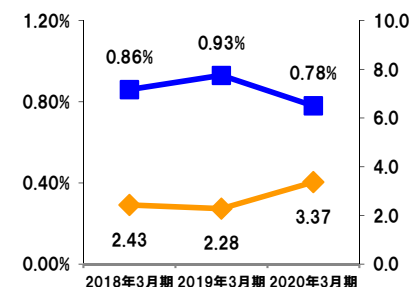
(単位:億円)



その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
その他有価証券	△ 3,610	△ 2,347	△ 1,263
株式	△ 146	32	△ 178
債券	200	△ 1,031	1,231
その他	△ 3,664	△ 1,348	△ 2,316



その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

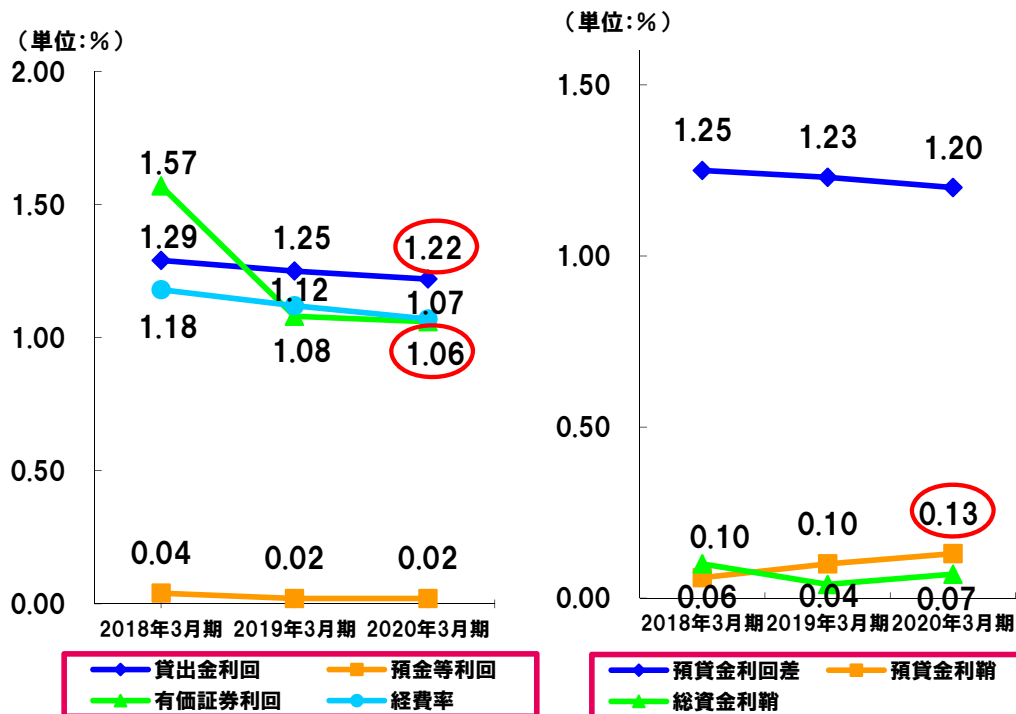
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
その他有価証券	△ 1,523	△ 3,725	2,201
株式	△ 39	△ 894	854
債券	△ 102	△ 1,945	1,843
その他	△ 1,381	△ 885	△ 496

- 有価証券残高は、保有債券の償還及び運用ポートフォリオの見直しを実施したことなどから、2019年3月末比226億26百万円減少の2,017億94百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利の上昇等により債券の評価益が減少したことなどから、2019年3月末比23億47百万円減少し、36億10百万円の評価損となりました。

- 投資環境や市場動向を踏まえ、有価証券ポートフォリオの約80%の見直しに着手し（2020年5月完了）、安定収入を確保する構成としました。有価証券残高は、2019年3月末比253億17百万円減少の2,575億12百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、株式や債券の売却による評価益の実現や、含み益を抱えていた債券の償還により、2019年3月末比37億25百万円減少し、15億23百万円の評価損となりました。

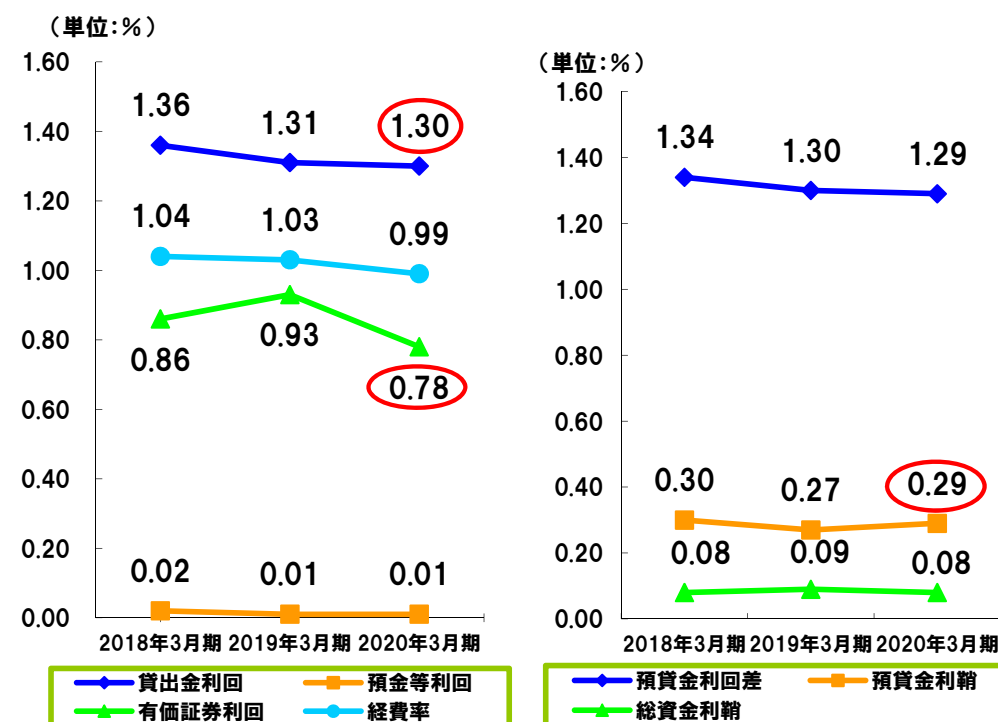
⑦各種利回り・利鞘の状況

① きらやか銀行



- 貸出金利回 1.22% (前年同期比0.03%低下)
低金利が長期化する中で貸出金利回りが低下しました。
- 有価証券利回 1.06% (前年同期比0.02%低下)
低金利の継続や利回りの高い債権の償還、投資環境悪化の影響などから、有価証券利回りが低下しました。
- 預貸金利鞘 0.13% (前年同期比0.03p上昇)
貸出金利回りは低下したものの、資金調達原価が低下したことから、前年同期比プラスとなりました。

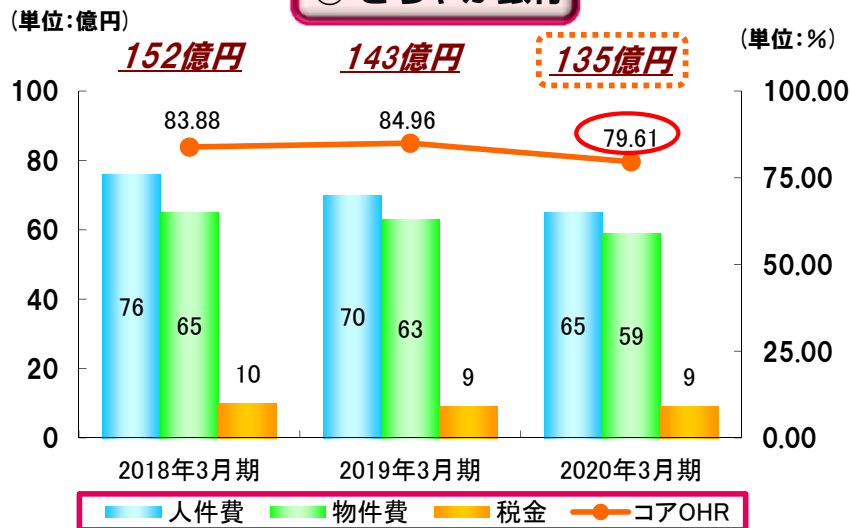
② 仙台銀行



- 貸出金利回 1.30% (前年同期比0.01%低下)
低金利が長期化する中、貸出金利回りの低下を最小限に留めました。
- 有価証券利回 0.78% (前年同期比0.15%低下)
投資環境悪化の影響を受け、有価証券利回りが低下しました。安定収益確保に向けてポートフォリオの大幅な見直しに取り組んでおります。(2020年5月完了)
- 預貸金利鞘 0.29% (前年同期比0.02p上昇)
経費が減少し、預貸金利回差が縮小したことから、前年同期比プラスとなりました。

⑧経費・経営効率化の状況

① きらやか銀行



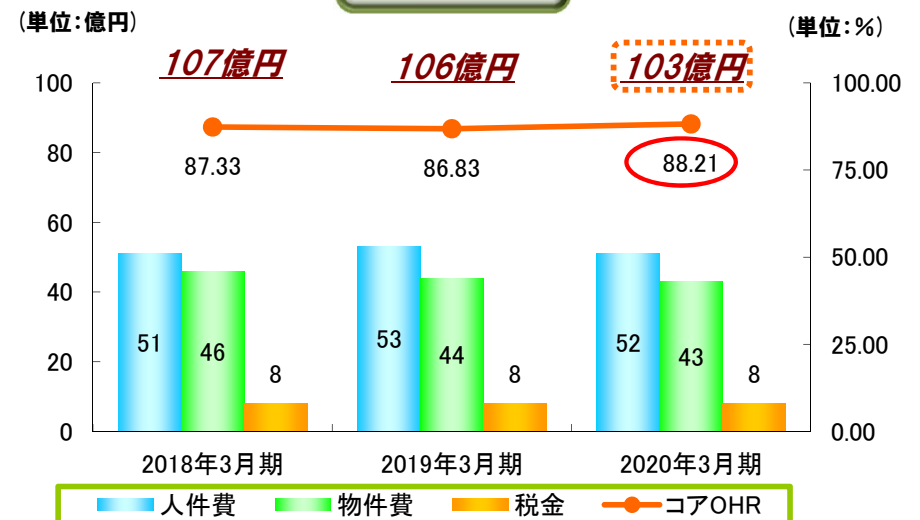
(単位:百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
一人当たり預金	1,334	1,313	1,310
一人当たり貸出金	1,057	1,071	1,090
一店舗当たり預金	17,996	20,392	19,698
一店舗当たり貸出金	14,266	16,638	16,386
店舗数(店)	63	62	62
行員数(人)	971	963	932

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。
インターネット支店1か店を含む。
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により、前年同期比8億21百万円減少の135億18百万円となりました。
- ・ 人件費：働き方改革に伴う時間外労働の減少等により、前期比▲5億1百万円
- ・ 物件費：業務見直しや行内全体で経費削減に取り組んだことにより、前期比▲3億25百万円
- コアOHRは経費の減少等により、5.35ポイント低下の79.61%となりました。

② 仙台銀行



(単位:百万円)

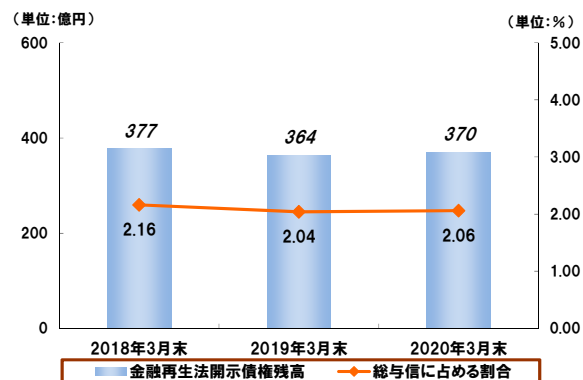
	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
一人当たり預金	1,495	1,419	1,511
一人当たり貸出金	1,006	986	1,032
一店舗当たり預金	17,402	18,860	21,160
一店舗当たり貸出金	11,709	13,111	14,451
店舗数(店)	60	56	52
行員数(人)	698	744	728

※店舗数については、ブランチ・イン・ブランチ実施店を1店舗として計上。
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は次の要因により前年同期比2億59百万円減少の103億95百万円となりました。
- ・ 人件費：人員の自然減等により前期比▲1億18百万円
- ・ 物件費：当初計画の合理化等により前期比▲1億50百万円
- コアOHRは、経費が減少したものの、コア業務粗利益が減少したことから、前年同期比1.38ポイント増加の88.21%となりました。
- 店舗はブランチ・イン・ブランチ化を進め、4カ店を統合しました。

③金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

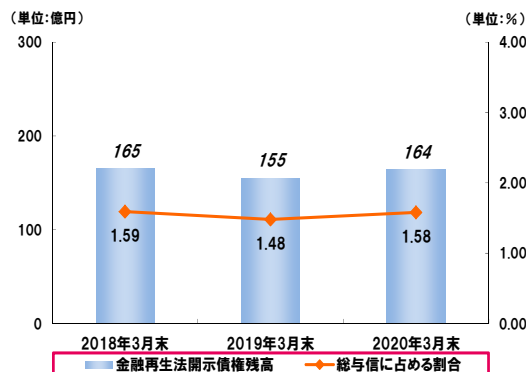
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,975	△ 643	4,618
危険債権	27,488	△ 46	27,534
要管理債権	5,567	1,262	4,305
合計 (A)	37,031	572	36,458
正常債権	1,757,736	7,235	1,750,500
総与信額 (B)	1,794,767	7,808	1,786,958
(A / B)	2.06	0.02	2.04

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,975	3,975	3,184	790	100.00
危険債権	27,488	22,950	19,280	3,669	83.49
要管理債権	5,567	2,082	1,777	305	37.40
合計	37,031	29,007	24,242	4,765	78.33

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比5億72百万円増加の370億31百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.02ポイント上昇の2.06%となりました。

② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

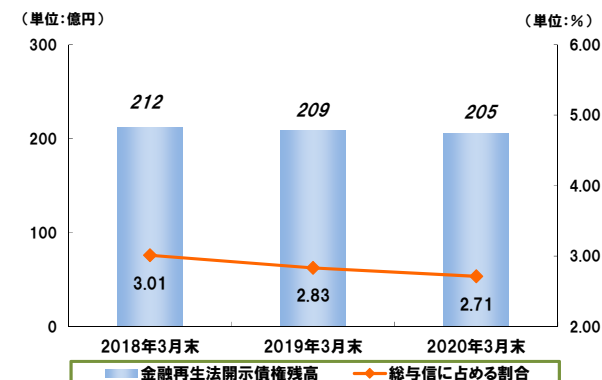
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,218	△ 832	3,050
危険債権	11,482	1,916	9,565
要管理債権	2,781	△ 156	2,937
合計 (A)	16,482	927	15,554
正常債権	1,021,693	△ 12,894	1,034,588
総与信額 (B)	1,038,175	△ 11,967	1,050,143
(A / B)	1.58	0.10	1.48

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,218	2,218	1,781	436	100.00
危険債権	11,482	7,785	7,240	545	67.80
要管理債権	2,781	490	234	255	17.62
合計	16,482	10,494	9,256	1,237	63.67

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比9億27百万円増加の164億82百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、2019年3月末比0.10ポイント上昇し1.58%となりました。

③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,756	188	1,567
危険債権	16,006	△ 1,962	17,968
要管理債権	2,786	1,418	1,367
合計 (A)	20,548	△ 354	20,903
正常債権	736,042	20,130	715,911
総与信額 (B)	756,591	19,776	736,815
(A / B)	2.71	△ 0.12	2.83

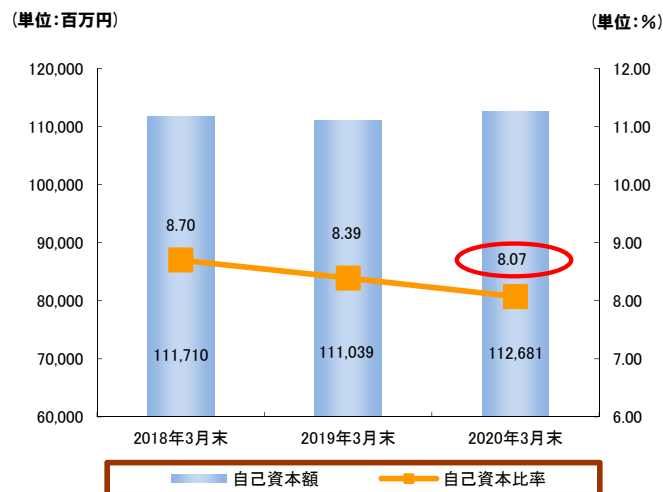
②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,756	1,756	1,402	354	100.00
危険債権	16,006	15,164	12,040	3,124	94.74
要管理債権	2,786	1,592	1,542	50	57.14
合計	20,548	18,513	14,985	3,528	90.09

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比3億54百万円減少の205億48百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.12ポイント低下の2.71%となりました。

⑩ 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

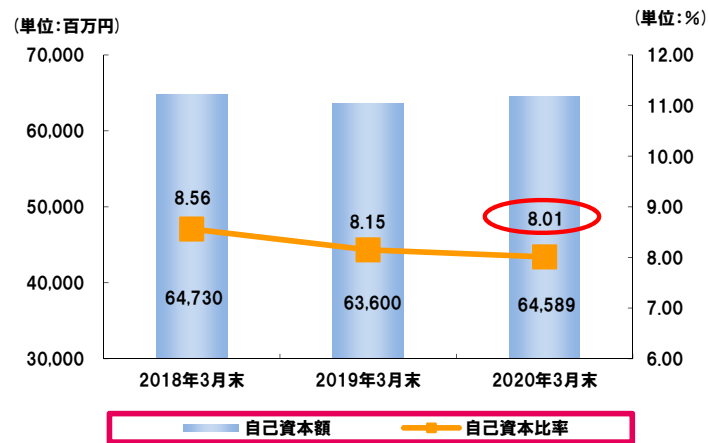


(単位:%)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
連結自己資本比率	8.07	Δ 0.32	Δ 3.81	8.39

- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.07%となりました。

② きらやか銀行

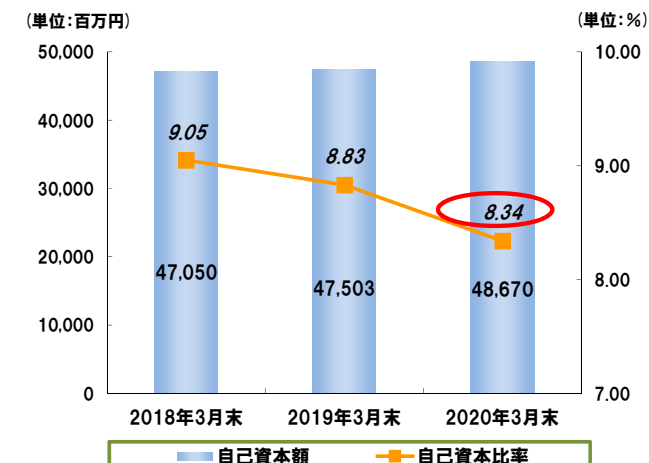


(単位:%)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
自己資本比率[単体]	8.01	Δ 0.14	Δ 1.71	8.15
自己資本比率[連結]	7.87	Δ 0.18	Δ 2.23	8.05

- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2019年3月末比0.14ポイント低下の8.01%となりました。

③ 仙台銀行



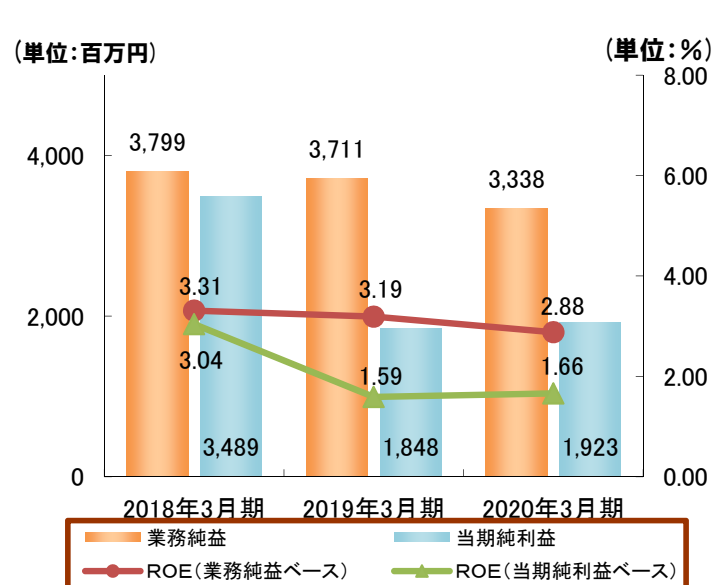
(単位:%)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
自己資本比率[単体]	8.34	Δ 0.49	Δ 5.54	8.83
自己資本比率[連結]	8.35	-	-	-

- 単体の自己資本比率は、当期純利益を8億19百万円計上した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2019年3月末比0.49ポイント低下の8.34%となりました。
- ※2020年3月期からは、連結子会社1社を設立したことから、自己資本比率（連結）を算定しております。

⑪ ROEの状況

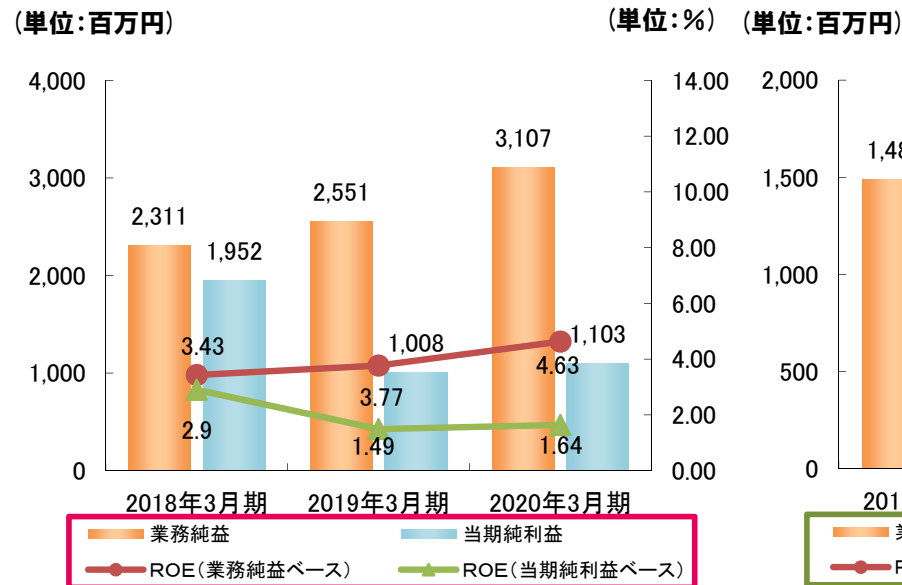
① 2行合算



(単位:%)

		2020 3月期	2019 3月期比	2019 3月期
ROE	業務純益ベース	2.88	△ 0.31	3.19
	当期純利益ベース	1.66	0.07	1.59

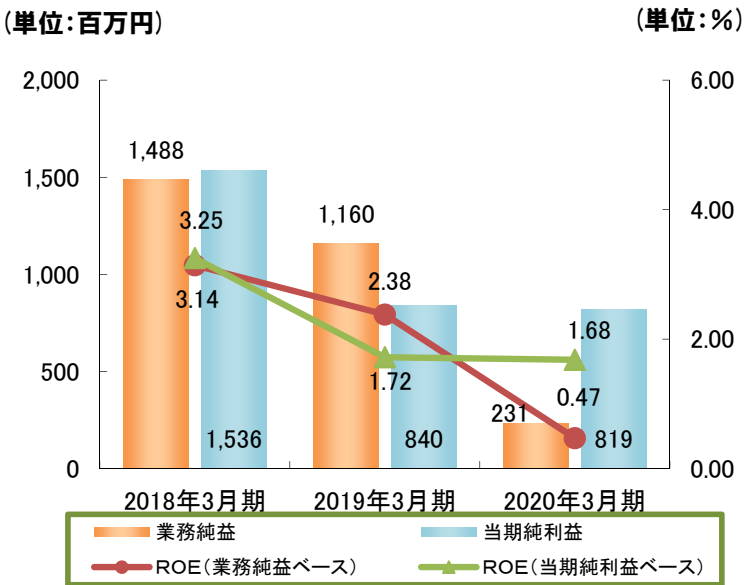
② きらやか銀行



(単位:%)

		2020年 3月期	2019年 3月期比	2019年 3月期
ROE	業務純益ベース	4.63	3.77	0.86
	当期純利益ベース	1.64	1.49	0.15

③ 仙台銀行



(単位:%)

		2020 3月期	2019 3月期比	2019 3月期
ROE	業務純益ベース	0.47	△ 1.91	2.38
	当期純利益ベース	1.68	△ 0.04	1.72

- 2020年3月期の2行合算のROE
業務純益ベース 2.88% (前年同期比△0.31p)
当期純利益ベース 1.66% (前年同期比0.07p)

- 2020年3月期のきらやか銀行のROE
業務純益ベース 4.63% (前年同期比3.77p)
当期純利益ベース 1.64% (前年同期比1.49p)

- 2020年3月期の仙台銀行のROE
業務純益ベース 0.47% (前年同期比△1.91p)
当期純利益ベース 1.68% (前年同期比△0.04p)

⑫ 2021年3月期業績予想

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	2,100	800	2,571
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,700	600	1,733

基 準 日	中間	期末	年間
配 当 予 想	1円50銭	1円50銭	3円00銭
(参考) 2020年3月期	2円50銭	1円50銭	4円00銭

- じもとホールディングスの2021年3月期の連結業績予想は、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円を見込んでおります。
- 2020年3月期の普通株式1株あたりの期末配当金は、新型コロナウイルス感染症の影響による与信関係費用の増加を見込む中で、経営体質強化のために必要な内部留保の確保・充実する観点から、従来の1株あたり2円50銭から、1株あたり1円50銭とさせていただきますと存じます。
また、2021年3月期の中間配当金につきましても1株あたり1円50銭とし、年間で1株あたり3円の予定とさせていただきますと存じます。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	1,600	600	1,678
当期純利益	1,300	400	1,103

仙台銀行

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	800	400	1,184
当期純利益	700	300	819

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益13億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益8億円、当期純利益7億円を見込んでおります。

2. 仙台銀行の取り組みについて

仙台銀行の経営戦略

「人で勝負する銀行」を発展させ、本業支援を通して、地元の復興ならびに地域経済の発展と活性化に貢献する

効率化・選択と集中

- マーケットを睨んだ店舗戦略
- RPAによる業務効率化
- 人員の適正配置

新分野への取り組み

クラウド型本業支援プラットフォーム

- Sendai Big Advance取扱い開始
- 仙台銀キャピタル&コンサルティング設立
- IT・FinTechの活用

中小企業向けを軸とした貸出増強

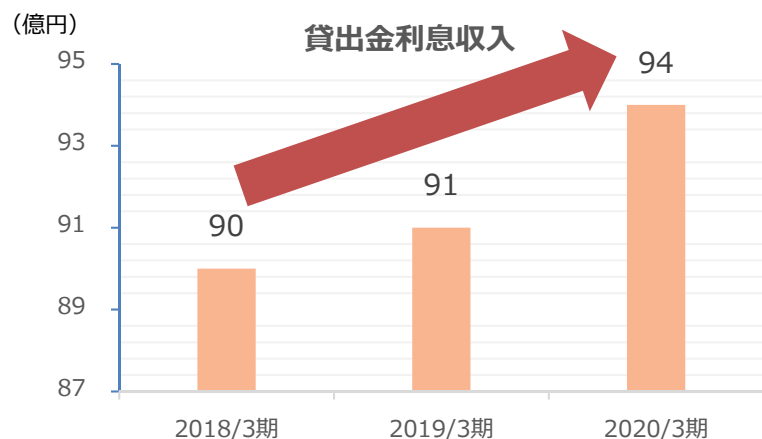
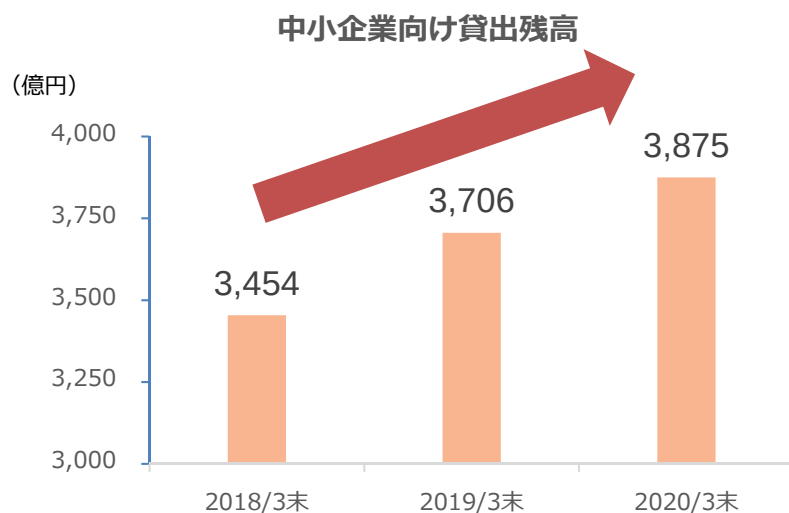
- コア戦略の拡充・推進
- 本業支援と最適提案
- お客さまへの伴走型支援

「トライアングル戦略」で収益力強化

中小企業向けを軸とした貸出増強

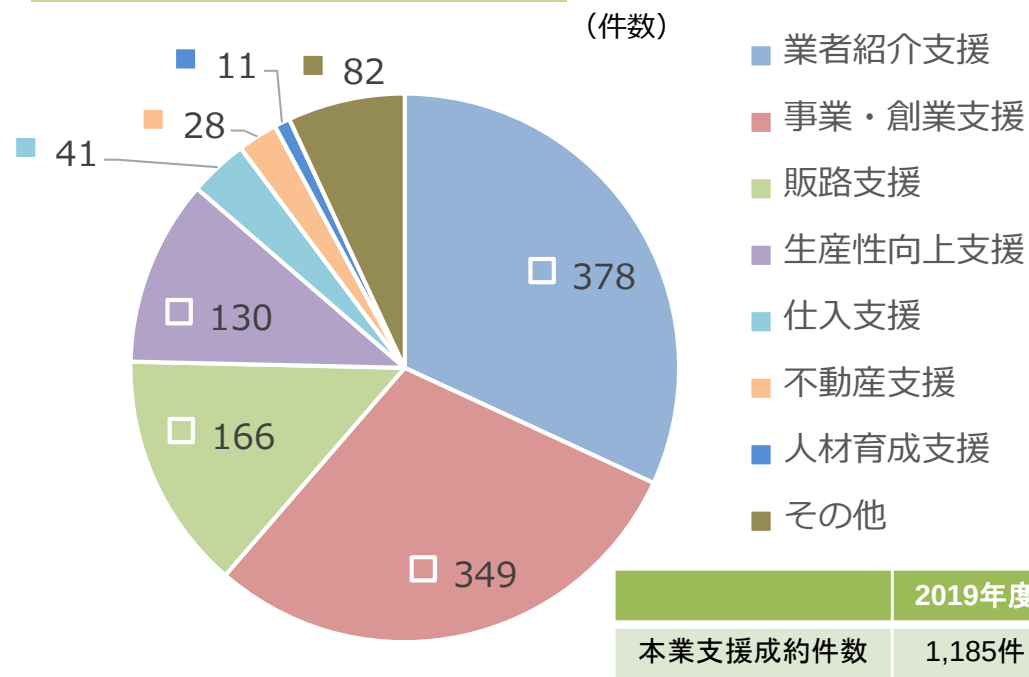
中小企業向け貸出増強

- ✓ 貸出金利回りは低下基調も、**貸出残高が増加**したことにより**利息収入増加**



本業支援による経営課題解決

主な本業支援の実績



じもと応援創業支援パッケージ

優遇特典付で取り扱い開始！

法人向けインターネットバンキング	契約料無料
法人向けクレジットカード	年会費初年度無料
Sendai Big Advance	月会費2カ月無料
仙台銀行ビジネスクラブ	入会后初回セミナー参加無料



Sendai Big Advance

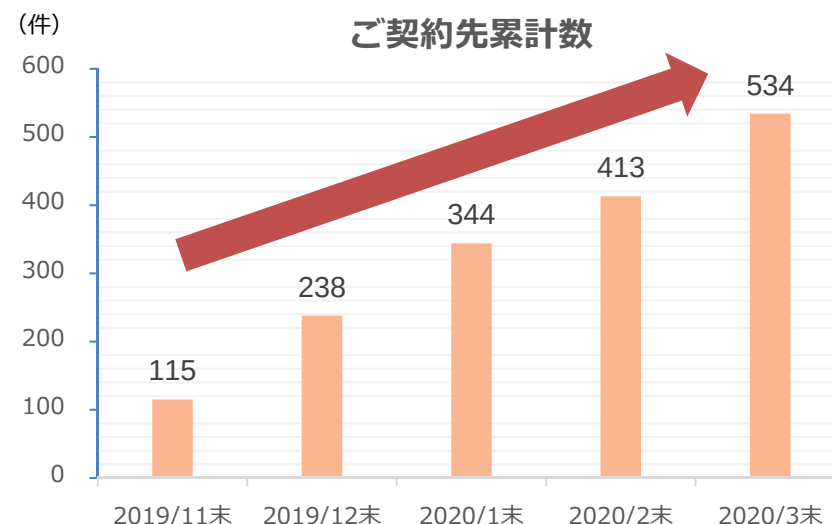


- ✓ **クラウド型本業支援プラットフォーム**
- ✓ 全国30以上の地域金融機関が提供し、
中小・大手企業の参加は**12,000社超！**
(2020年6月現在)

経営課題解決へ新たな手段を提供

- ✓ **WEB上(非対面)でビジネスマッチング**
- ✓ **チャット**で営業店担当者と**リモート交渉**
- ✓ **簡単ホームページ作成**
- ✓ パートナー企業として、**全国の上場企業や宮城県内の地公体・大企業が参加**
- ✓ 従業員向け福利厚生サービス
- ✓ 補助金・助成金、各種セミナー情報をタイムリーに掲載

会員数増加によりネットワーク拡大



新機能追加



オーナーと従業員による社内チャット機能

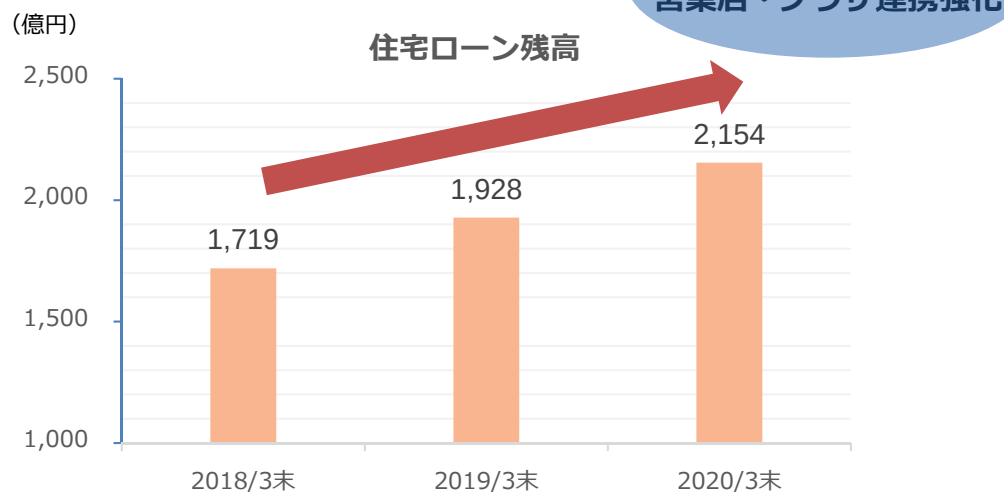
オーナーが従業員の安否を確認できる機能

ホームページ作成機能に「求人情報」のページ追加

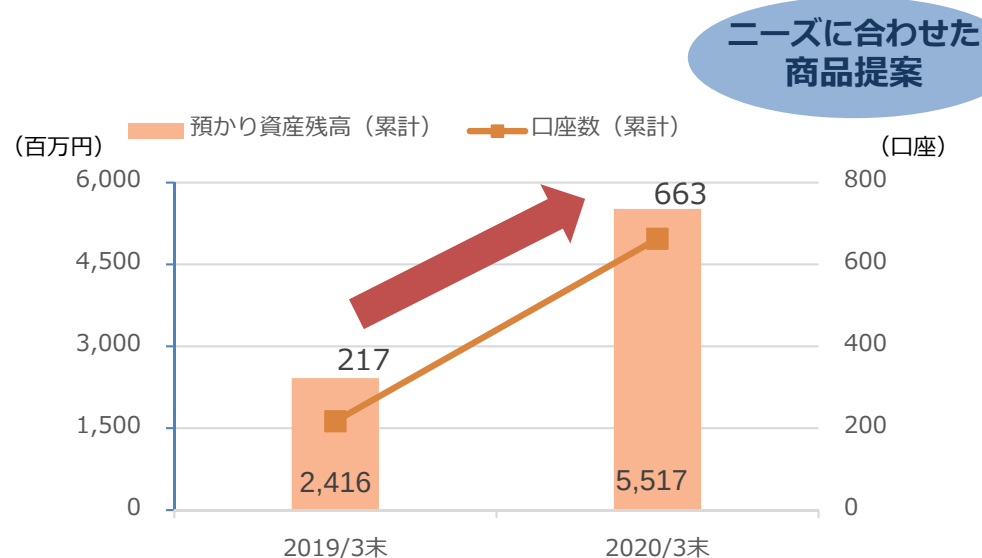
※当行業務提携先「ミイダス」登録（別途費用）

個人営業の主な実績

住宅ローンの実績



仙台銀行SBIマネープラザの実績



子会社の取り組み

仙台銀キャピタル&コンサルティング

2020年1月10日設立 100%出資子会社

✓ 事業承継・M&A

- 複雑化・多様化する経営課題に対し、
従来以上に専門性の高いサービスを提供

✓ 仙台銀行ビジネスクラブ (SBC) 運営

- 経営コンサルティング業務
- 『**SBC次世代経営塾**』開講

第1期16名の若手経営者・後継者が参加



開催日	テーマ・内容
9/11	経営の原理原則～企業は環境適応業～ 【特別講義】新聞のビジネス活用講座 (河北新報社様)
10/9	財務マスター講座～決算書の見方と経営分析を理解する～ 【講義】銀行が見る企業内容
11/13	わが社の勝てる場の発見～成長戦略を考える～ 【特別講義】事業承継と新規事業 (マサヤ・スチール工業様)
12/11	人と組織を動かす～人材を育て、組織を動かす～

IT活用・顧客利便性向上・業務効率化の取り組み

データの集積・分析・活用

WEBマーケティングの活用

- 個人ローンのマスマーケティング強化

AI活用

- AIによるビッグデータ分析

顧客利便性向上

仙台銀行アプリ

- 個人顧客の非対面チャネルの拡充

キャッシュレスサービスとの連携

業務効率化

RPAの活用

- 個人ローンWEB受付業務にて活用

AI-OCRの活用

- 手書きによる住宅ローン事前審査申込書をデータ化

店舗業務運営の見直し

- 事務の本部集中化、ペーパーレス化

BPR推進グループ設置

- 全行横断的な業務再構築による効率化を展開

人員の適正配置による営業力強化

- 営業店融資渉外の増員による営業力強化

新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けられたお取引先企業さまを支援するため、適時適切なご融資、返済猶予等の既往債務の条件変更など、取引先の状況に柔軟に対応しております。

2月14日

事業者向け相談窓口設置

- 緊急融資取扱い開始

3月6日

地元企業支援チーム設置

- 営業店と本部の連携強化

3月31日

対策本部設置

- 組織横断的な支援体制

➤ 臨時相談窓口の対応

3月13日 事業者向け休日電話相談窓口設置

4月10日 個人向けローン電話相談窓口設置

5月 融資相談会（対面対応・事前予約制）
大型連休 本店営業部、岩沼、石巻、古川、佐沼支店で開催

➤ 新規融資・貸付条件の変更等の状況

（百万円）

相談先数	新規融資		貸し付け条件の変更	
	先数	金額	先数	金額
1,995	803	33,005	79	4,498

（5月末時点）

➤ 本部の体制

- 時差出勤、交代勤務、**スプリットオペレーション**を実施
- BCP（業務継続計画）**等を踏まえた対応

➤ 営業店の体制

- 金融仲介機能の維持と感染拡大防止の両立**を図る観点から、人員を削減して運営
- 4月27日から一部店舗を除き**昼休業**を実施

（6月19日より 全面通常営業再開）

新型コロナウイルス感染症に関連する 本業支援事例

Sendai Big Advance 活用

活用提案

サポート

掲載

- 新型コロナウイルスの影響で、売上が落ち込む等経営課題を抱える取引先へ**SBAの活用を提案**
- 実際に内容作りや効果的な活用をアドバイスし、**登録までをサポート**
- **全国のBig Advance会員企業へPR**

【クーポン掲載】養鶏業
(有)竹鶏ファーム さま（白石市）



デリバリー注文でたまごの特典付に

【ニーズ掲載】飲食業
びすとろぼんてん・梵天食堂 さま（仙台市）



予算に応じて、オリジナル弁当作成

【ニーズ掲載】機械基部卸売業
(株)ワタベ産業 さま（仙台市）



感染予防に除菌・消毒剤を取扱い

【ニーズ掲載】情報サービス業
(株)ブリックス さま（利府町）



ポケットWi-Fiレンタル
テレワーク環境整備に

（情報は2020年5月末時点）

- ✓ 販路拡大・在庫過多の解消
- ✓ 感染防止対策に役立つサービスPR
- ✓ 従業員向けクーポンで福利厚生
- ✓ コロナ関連融資・補助金・助成金情報をタイムリーにご案内

「人事労務・助成金個別無料相談会」開催

アドバイザー：株式会社TMC経営支援センター（業務提携先）

- 事業活動が停滞し困難な状況にある取引先に対し、**相談の場を提供**
- 社会保険労務士が**個別に情報提供やアドバイス**

参加企業からの主なご相談

- **雇用調整助成金**申請・活用相談について
- 従業員を休ませる場合等の**労務管理**について



開催日	会場	参加社数
4月23日	本店	8社
4月24日	本店	6社
5月19日	佐沼支店	12社
5月20日	本店	7社
5月27日	岩沼支店	9社

😊 主なご感想

- ・日々情報が更新されるので、**タイムリーな相談機会**でした
- ・今まで社労士との契約がなかったので**アドバイスも含め、コンサル契約も検討**したいと思います
- ・**必要書類や具体的な記入方法**を教わり助かりました

人で勝負する銀行 魅力ある職場環境づくりの推進

休暇制度の充実

- 「半日有給休暇制度」「ライフイベント休暇」導入
- 次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」の特例認定（**プラチナくるみん認定**）取得
- 宮城県・宮城労働局より「魅力ある職場づくりモデル企業」として表彰



育児休業 取得状況

	女性職員	男性職員
2017年度	100%	100%
2018年度	100%	87.5%
2019年度	100%	100%

女性職員のキャリア形成支援

- 管理職に占める女性の割合 11.0%（2020年4月末）
- 女性活躍推進ワーキング会議（きらやか銀行と合同開催）
- 女性営業職異業種交流会**の実施
- 「企業の未来プロジェクト」への職員派遣（仙台市／せんだい男女共同参画財団主催）



(株)藤崎さま との異業種交流会



医療経営士が日本医療経営実践協会での講演

職員の活躍支援・働き方選択肢拡大

- 若手職員向け研修「ゼロから始まる融資渉外研修」
自立型企业視察研修制度「チャレンジ・ダイバーシティ」
- シニア職員の定年後再雇用、キャリア・リターン制度
- 旧姓のビジネスネーム使用を選択可能に
- 資格保有者を講師として外部セミナーへ派遣**

職員の資格取得状況（2020年3月末現在）

資格名称	取得者	資格名称	取得者
中小企業診断士	3人	医療経営士2級	2人
不動産鑑定士	1人	医療経営士3級	8人
農業経営上級アドバイザー	1人	動産評価アドバイザー	2人
農業経営アドバイザー	19人	1級FP技能士	30人
水産業経営アドバイザー	2人	2級FP技能士	255人
宅地建物取引士	47人	3級FP技能士	583人
M&Aシニアエキスパート認定	4人		

3. きらやか銀行の取り組みについて

"私たちの想い"

本業支援を通して

地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から
喜んでいただき地域と共に生きること。

当行では様々な取り組みを行っておりますが
全てはこの“想い”を実現するためです！

きらやか銀行の

経営理念

=

事業を継続していく道のりは、
決して平坦ではありません。

でも、社長さまの想いが
実現することを願って…

プレッシャーに押しつぶされ
そうになるときもあります。

くじけそうになるときも

きらやか銀行はいつも、
どんなときでも、皆さま
を一番近くでお手伝いし
ます!!!

つまり・・・
当行と皆さまは

一心同体

です!!

合言葉は、
「とことんべつたり」!!

～当行の本業支援の3本柱～

2009年より
組織的に「本業支援」
の活動をスタート！

組織的・継続的に
当行ならではの
本業支援を実施！

銀行業から
“本業支援業”への
転換を目指し、
日々進化中！

財務の本業支援

お客さまが本業に
専念できるように

- ・資金繰り安定化など財務の改善をご提案
- ・過去の課題、悩みの解消に向けたお手伝い

成長の為の本業支援

将来像を共有し
一緒に課題を解決

- ・リース、経費削減、あんしん経営サービス
などお客さまにあったメニューをご用意
- ・将来の成長に向けてお客さまごとの課題
解決をお手伝い

福利厚生の本業支援 (ふっくりパッケージ)

従業員の皆さまへの
福利厚生をお手伝い

- ・取引先企業に働く従業員の皆さまに
喜ばれる本業支援を実施
- ・雇用維持・拡大のため企業の福利厚生を
お手伝い

アクティブリスニング

お客さまの事業に
ついてしっかりと
お話を聴きする

<本業支援の実績>

項 目	2018年度	2019年度	前年度比
本業支援成約先数	3,500 先	3,252 先	△248 先
本業支援成約件数	5,548 件	4,830 件	△718 件
お客さまからのニーズ件数	6,870 件	7,154 件	+284 件
財務の本業支援成約先数	2,817 先	2,311 先	△506 先
成長の為の本業支援成約先数	1,232 先	1,096 先	△136 先
福利厚生の本業支援契約先数	516 先	587 先	+71 先

とくにニーズが高まっているのはこの2つです！

経費削減の本業支援

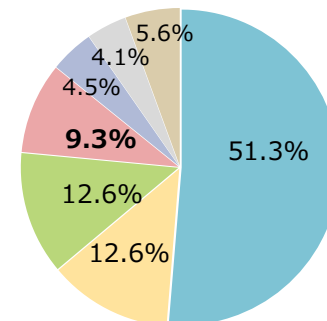
- ・電気料金削減
- ・通信コスト削減
- ・オフィスネットバンキング
- ・法人カード …など

福利厚生の本業支援

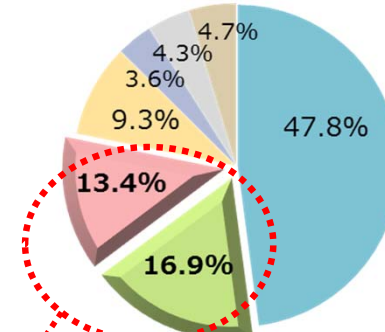
「ふっくりパッケージ」(⇒後述)

<本業支援の主な内容>

(2019年3月期)



(2020年3月期)



企業の経費削減や従業員さま
への福利厚生の充実へのニ
ーズが高く、共に実施した本業
支援全体に占める割合が高
まっています。

■ 財務の本業支援 ■ 経費削減・効率化支援
■ 福利厚生支援 ■ 販路支援
■ 仕入支援 ■ 専門家紹介
■ その他

※総数：2019年度成約件数＝4,830件

理事長・園長の“想い”が実現しました!!

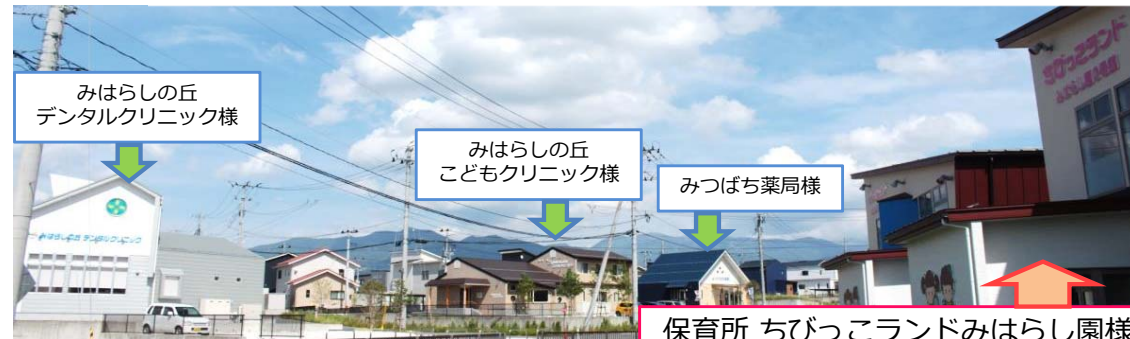
～S.S.Corporation株式会社(保育所ちびっこランド)様の事例～



ちびっこランドみはらし園様 (山形市みはらしの丘)



「活きる」CM 第8弾 本業支援 街の保育所篇



みはらしの丘
デンタルクリニック様

みはらしの丘
こどもクリニック様

みつばち薬局様

保育所 ちびっこランドみはらし園様

経過

6つの保育所を開園

- ・2012年 全面的な資金対応、事業計画策定支援
- ・2016年 当行の「活きる」CMに出演、保育所の魅力をPR

PICK UP!

リース業、不動産業を行う当行の関連会社も含め「オールきらやか」でお手伝いしました。

「病児保育」の実現に向けて

新興住宅地へ 2つの保育所を開園

- ・2017年 新興住宅地みはらしの丘における
保育所誘致の情報を入手し情報提供
- ・ // 事業計画策定および助成金申請支援

PICK UP!

みはらしの丘に保育所1号館を開園すると、近隣に分譲地の売却が進み、園児の受入人数が定員に近づいたため、2020年に2号館を開園しました。

保育所の近隣に 医療施設を誘致

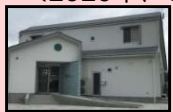
看護師資格を持つ保育士による園内での看病に加え、病院の診察も受けられる「病児保育」が実現。

- ・保育所近隣への医療施設誘致について理事長・園長と協議
- ・当地へ開業を希望する医療施設に対し事業計画策定支援および当行取引先15社を紹介

PICK UP!

「医療施設開業予定」の看板が設置されると、100区画以上あった分譲地の売却が進み、当地の分譲地は約1年で完売に近づきました。

＜2020年、3つの医療施設が当地に開業＞



みはらしの丘
デンタルクリニック様



みはらしの丘
こどもクリニック様



みつばち薬局様

地域を支えたいという開園当初からの強い想いを共有し、同社を全面的にバックアップ。想いが実現すると共に、みはらしの丘全体の活性化にもつながりました。

企業1,100社、従業員16,000名の皆さまからご利用いただいています！

会員限定資産形成サービス

- 1 普通預金の100倍の金利※の「ふっくり口座」をご利用いただけます！ ※2020年3月末日時点で年0.100%の金利
- 2 当行ATMの時間外手数料が無料になります！

口座開設数
2019年3月末
～2020年3月末
26.5倍

会員限定優待サービス

掲載店で割引などの特典を利用できる「ふっくりパスポート」を、年2回進呈しており、内容は毎回更新しております。



ふっくりパスポート 第4号発行！



2020年7月より
ご利用いただけます！

企業さまの **福利厚生** に
是非お役立てください！

会員限定体験サービス

従業員さまやそのご家族さまをご招待する“当行オリジナル”のイベントです。
現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のためサービスを一部中止しておりますが、再開の目処が立ち次第ご案内させていただきます。

- ・本当に充実した時間でした。
- ・気持ちのよい汗をかき体がすっきりしました。
- ・また参加したいです。



美Body Making ヨガ&ピラティス



きらやか銀行硬式野球部トライアルレッスン



“贅沢”味噌づくり体験（山形南ブロック）

- ・とても貴重な体験ができました。
- ・講師のお話も面白く子どもも飽きずに参加できました。楽しかったです。

2019年度
15回開催！
880名参加！



最上川舟下り&バーベキューツアー

“コロナ後”に向けて皆さまから
喜んでいただけるサービスを企画中です。
どうぞご期待ください！

本業支援の強化に向けて 取り組んでいます！

第一勧業信用組合と協定締結、関東圏との連携強化



「地方創生における包括連携協力に関する協定」締結式

2020年1月、東京都内に26の支店を持つ※¹第一勧業信用組合（第一勧信）と「地方創生における包括連携協力に関する協定」を結びました。第一勧信では、当行を含め37金融機関、10自治体と同様の協定を結んでいる※²ことから、当行の取引先企業さまを全国へと繋ぐための選択肢が広がりました。

※1,2…いずれも2020年1月時点

早速連携しています！

山形 → 関東

第一勧信の営業店で実施する「年金感謝デー」のプレゼントとして当行の取引先企業さまが取り扱っている山形の産品を同組合に提供。販路拡大支援と、首都圏への山形の魅力PRに繋がっています！



山形特産の「紅花」を練りこんだオリジナル麺
(株式会社はせ川製麺様)

関東 → 山形

第一勧信から紹介を受けた感染症予防のためのマスクや消毒液、非接触型体温計等の情報を全店でタイムリーに共有し、取引先企業さまの仕入れにつながりました！

社会貢献の本業支援！「子ども支援」定期預金の取扱開始 ～お客さまの社会貢献活動のお手伝いをします～

山形県内で「子ども食堂※³」などの活動に取り組む支援団体に対して、山形県社会福祉協議会を通じ、本定期預金の残高に応じて寄付を行うものです。

3月末時点で、481社の企業さまからのお預入により預金残高が100億円に到達し、累計100万円を寄付しております。

今後もさまざまな活動を通じて地域の活性化に取り組んでまいります。

※3…無料または低価格帯で子どもに食事を提供するコミュニティのことで、さまざまな理由から満足に食事を取ることができない子どもや家庭を支援する取り組みとして全国に広がっています。



預金残高100億円到達！

2020年3月29日 社会福祉協議会への寄付金贈呈式

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

「今こそ、本業支援！」地域の皆さまのお力になります！

「本業支援緊急対策室」を設置 ～「短期」「中長期」両方の目線でお手伝いします～

＜当行のこれまでの対応（抜粋）＞

2月14日 事業者向け相談窓口設置

3月31日 日本政策投資銀行と
「災害対策業務協力協定」締結

4月1日 返済条件変更・繰上返済手数料全額免除

4月3日
「本業支援緊急対策室」設置

5月2～6日 GW期間中の休日相談窓口開設

● 新型コロナウイルスの影響を受けられているお客さまに対するより早期の本業支援及び資金対応を目指し、本業支援本部内に当室を新設しました。

● 事業運営に支障をきたしている中小企業のお客さま、特に現時点で影響の大きい温泉旅館・宿泊業の皆さまの資金繰り安定、事業計画立案をお手伝いします。
引き続き、他業種についても積極的に取り組んでまいります。

本業支援緊急対策室
7名の専任担当者



40先超の宿泊業のお客さま1社1社に
担当者を配置し、直接ご訪問・ご面談等を行い、状況の確認と対応策の協議を進めております。

企業さまの“コロナ対策”をお手伝い ～ふっくりパッケージご契約者さまに向けて～

「福利厚生の本業支援」の一環として「ふっくりパッケージ」のご契約企業さまへ以下の新型コロナウイルス感染拡大防止グッズをお届けしております。

- 使い捨てマスク
- 除菌ウェットシート

※5月11日までに「ふっくりパッケージ」契約書が本部に到着した企業さまが対象となります。それ以降に新規ご契約いただいた企業さまには「マスクのみ」お届けしておりますが、在庫に限りがあるため、なくなり次第終了となります。

今後も「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただけるサービスを充実させてまいります！



お客さまの喜び

“私たちの想い”の実現

2020年度～

近日発売、
乞うご期待！

当行独自！
本業支援アプリの提供

商社機能の充実

2018年度～

アクティブ
リスニングの徹底

情報トレーダーの増員
(情報集約・仕分・指示・サポート)

福利厚生の本業支援
(ふっくりパッケージ)

職域担当者の増員

あんしん経営サービス

人材紹介業

経費削減の
本業支援

本業支援緊急対策室

2016年度～

従業員さまの
資産形成のお手伝い

コンサル 業務

リー ス 業務

2015年度～

財務の
本業支援

成長の為の
本業支援

店舗戦略

～2015年

継続的
組織的活動

営業体制見直し
(法人力強化)

専門家集団の創設

情報トレーダー配置

2009年本業支援START！

ア ク テ ィ ブ リ ス ニ ン グ

未来



4. じもとホールディングスの取り組みについて

キーワード

顧客本位の本業支援

統合効果発揮

我々は“なぜ”
「本業支援」に取り組むのか？

- 必要とする支援を受けられていない
中小企業の皆さまの力となるため
- 地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

<目指す姿>

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通じて、地域経済の発展・地方創生に貢献していく
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する

きらやか銀行

仙台銀行

中期経営計画の柱

計画期間 2018年4月～2021年3月

持続可能なビジネスモデルの確立
～「本業支援」を核とする～

未曾有のコロナ禍
「今こそ、本業支援！」

① 中小企業成長戦略

- 本業支援を真に必要としているお客様のもとへ足を運び、寄り添う
- お客さまの成長と喜びを通して地域経済の発展と地方創生に貢献

② 非金利収入増加戦略

- 企業の経営戦略サポート、コンサルビジネスの強化

③ 仙台地区営業戦略の強化

- じもとグループのノウハウ、情報を活かした仙台地区営業強化と顧客基盤構築

効率化・合理化

～ グループ業務運営態勢再構築 ～

① 本部組織の抜本の見直し、店舗網見直し等

- グループ全体で組織・業務運営態勢の更なる効率化・合理化

② 事務集中業務の集約化

- 更なるシナジー効果の発揮

ガバナンスの強化

① グループ経営態勢の見直し

- H Dの更なるガバナンス強化
- 本部組織の統一・再編

持続可能な
ビジネスモデルの確立
～「本業支援」を核とする～

2019年 実績

- 中小企業向け新サービス展開
 - ・きらやか銀行：福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」
 - ・あんしん経営サービス「共に生きるパッケージ」
 - ・仙 台 銀 行：クラウド型本業支援「Sendai Big Advance」
 - ・コンサルティング業務等提供子会社「仙台銀キャピタル&コンサルティング」設立
- 仙台地区における中小企業融資増強
仙台地区営業戦略の展開 ⇒ 中小企業貸出増加

※仙台地区の増加額は全地区合計の72%

中小企業貸出	2020/3末 貸出残高	前年比 増加額
仙台地区 (全地区合計)	4,067億円 (9,405億円)	169億円 (232億円)

2020年 施策

- 未曾有のコロナ禍「今こそ本業支援！」
 - ・資金繰り対応チーム、休日相談窓口の設置
⇒資金繰り対応、人事労務等への相談機会提供、販路確保・事業計画立案などの支援等
- 中小企業成長戦略の深化
 - ・仙台地区営業戦略の強化、本業支援の質の向上
- 融資審査ノウハウの共有・向上
 - ・審査部門の人事交流
- 非金利収入増加戦略
 - ・法人向け手数料収入の増加
- IT・FinTech技術の活用

効率化・合理化
～グループ業務
運営態勢再構築～

- 市場金融部門のバックオフィス統一
- ORPA化による業務の合理化
 - ・50業務（想定効果：年間約11,000時間・17百万円）
- 両行統一の進展
 - ・電子帳票システム、固定資産システム統一
 - ・就業規則、給与規定の統一

- 営業店業務のプロセス効率化
 - ・窓口業務の効率化
- 店舗役割と人員配置の見直し
 - ・店舗戦略の展開、営業人員の増加
- バックオフィス、事務の統一
 - ・両行本部業務の集約・統一等による効率化

ガバナンス態勢の強化

- 監査等委員会設置会社への移行
 - ・社外取締役比率1/3以上に（監督機能強化）
 - ・取締役会における中長期的な経営課題の協議を充実
 - ・子銀行の監査等委員会移行決定

- 子銀行の監査等委員会設置会社移行
 - ・グループの経営組織を統一
- グループ監査体制の強化
 - ・監査等委員会と監査部の連携強化

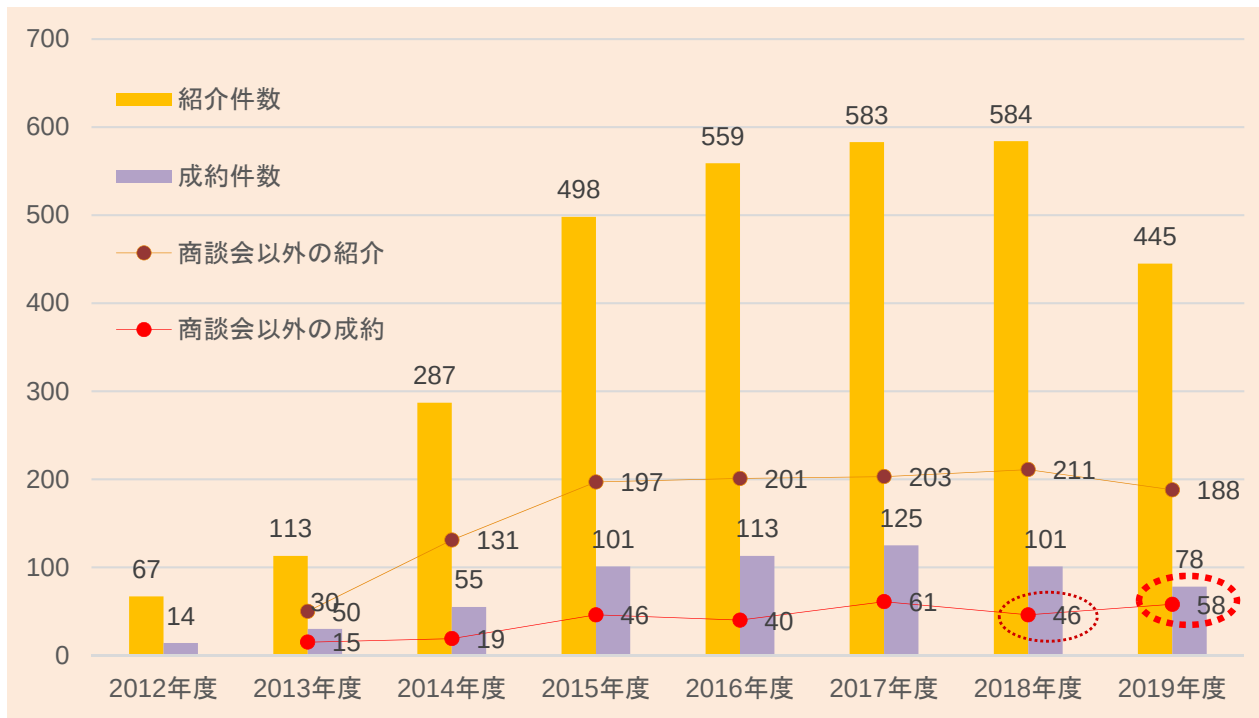
じもとグループは「**本気の本業支援**」で**宮城と山形を強力につなぐ**ことで、他行の追随を許さない金融グループを目指します！

宮城と山形をつなぐ！

県境を越えたビジネスマッチングの実績

組織的な本業支援の更なる強化 県境を越えた情報の集約と提供

紹介件数（累計）：**3,000件超**



2019年度は紹介件数445件（前年比△139件）成約件数78件（前年比△23件）となりました。コロナ問題が営業活動・商談会開催に影響し、紹介・成約とも件数は減少しましたが、お客さまの課題解決に踏み込んで取り組み、**商談会以外での成約件数が12件（26%）増加**しました。

東北と東京圏をつなぐ！

東京きらぼしFGとの実績

2019年度 実績	紹介件数	成約件数
	18件	7件

紹介件数（累計）：**100件超**

グループの強み！

- 組織的・継続的な本業支援
- 外部連携による多彩な展開

＜主な商談会への取り組み＞

- 伊達な商談会（宮城県商工会議所連合会等主催）：53社参加
- 食の魅力発見商談会（第二地方銀行協会主催）：12社参加
- 愛銀ビジネス商談会（愛知銀行主催）：3社参加
- 食の商談会（じもとHD主催 仙台・山形開催）：34社参加

＜2019年度実績＞

商談数：**257件** うち成約数：**20件**

本業支援の進化・発展
～お客さまと銀行の共存～

＜2020年3月期の実績＞

低金利の長期化、コロナ禍により収益環境が厳しい中、**中期経営計画 3項目を達成**しました。

	2020年3月期			2021年3月期
	計数計画	実績	計画比	計数計画
コア業務純益	50億円	48億円	△2億円	62億円
当期純利益	30億円	19億円	△11億円	40億円
達成 コアOHR	83.39%	83.13%	△0.26%	79.95%
預金平残	23,585億円	22,974億円	△611億円	24,020億円
達成 貸出平残	17,436億円	17,505億円	+69億円	17,995億円
自己資本比率	8.41%	8.07%	△0.34%	8.35%
達成 顧客向けサービス業務利益 (2018.3比増加額)	△11億円 (+17億円)	△7億円 (+21億円)	4億円 (+4億円)	1億円 (+29億円)

※顧客向けサービス利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

＜達成項目の要因＞

- 中小企業融資を中心に貸出金が増加し、貸出平残を達成しました。
- 貸出平残増加による貸出金利息収入増加、法人向役務収益増加に加え、経費削減が進み、コアOHR、顧客向けサービス業務利益を達成しました。

＜未達項目の要因＞

- 有価証券利息の減少、信用コストの増加等により、コア業務純益、当期純利益は未達となりました。



じもとグループは、「本業支援」を通じて地元中小企業の成長を支援し、地元経済の発展、地方創生に貢献することを目指しています。「本業支援」そのものがESG・SDGsの理念に合致するものと考え、これからもグループ一丸となり取り組んでまいります。

**グループの取り組み
HPへ開示しました！**

主な取り組み

2019年度の取り組みから

Environment 環境



- 第一勧業信用組合と地方創生に関する協定締結
- 令和元年台風等被害広域復興ファンドへの出資
- 湯野浜地区CO2削減事業(温泉熱利用)への参加
- 「きらやか社会貢献私募債」(CSR活動や環境に配慮した企業等に発行)
- まちづくり・震災復興活動への助成(公益信託「仙台銀行まちづくり基金」)
- ペーパーレス化推進(会議資料、行内帳票の電子化等)

Social 社会



- 上山市産業団地への企業誘致
- 旧店舗の寄贈「空き店舗の有効活用」(きらやかの旧漆山支店を宗教法人浄土院さま〈児童保育所運営〉へ、仙台の旧丸森支店を丸森町へ寄贈)
- (株)I B Jとの業務提携先による「事業承継に向けた婚活支援」の取り組み
- 業務提携による外国人技能実習生受入サポート
- 教育・学術の振興及び社会福祉、交通安全施設等への助成(きらやか銀行教育福祉振興基金)
- 「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業」最優秀賞受賞、プラチナくるみん認定【仙台銀行】

Governance ガバナンス



- 監査等委員化設置会社への移行
- グループ経営態勢の見直し(コーポレートガバナンス・コードへの対応等)
- 本部組織の統一・再編
- リスク管理態勢の強化
- 「マネー・ローndリング及びテロ資金供与対策に係る基本方針」の制定
- ⇒ CDDシステム(顧客格付システム)導入

地元中小企業の成長

地域経済の発展

地方創生

持続可能な社会の実現



<きらやか銀行> 子ども支援定期預金の取扱

お預入れいただいた企業様からの定期預金累計残高に応じ、山形県内で「子ども食堂」などに取り組む支援団体に寄付を行う取り組みを始めました。

ご賛同いただいた481社様からの預金は3月末に100億円に達し、累計100万円を寄付しました。

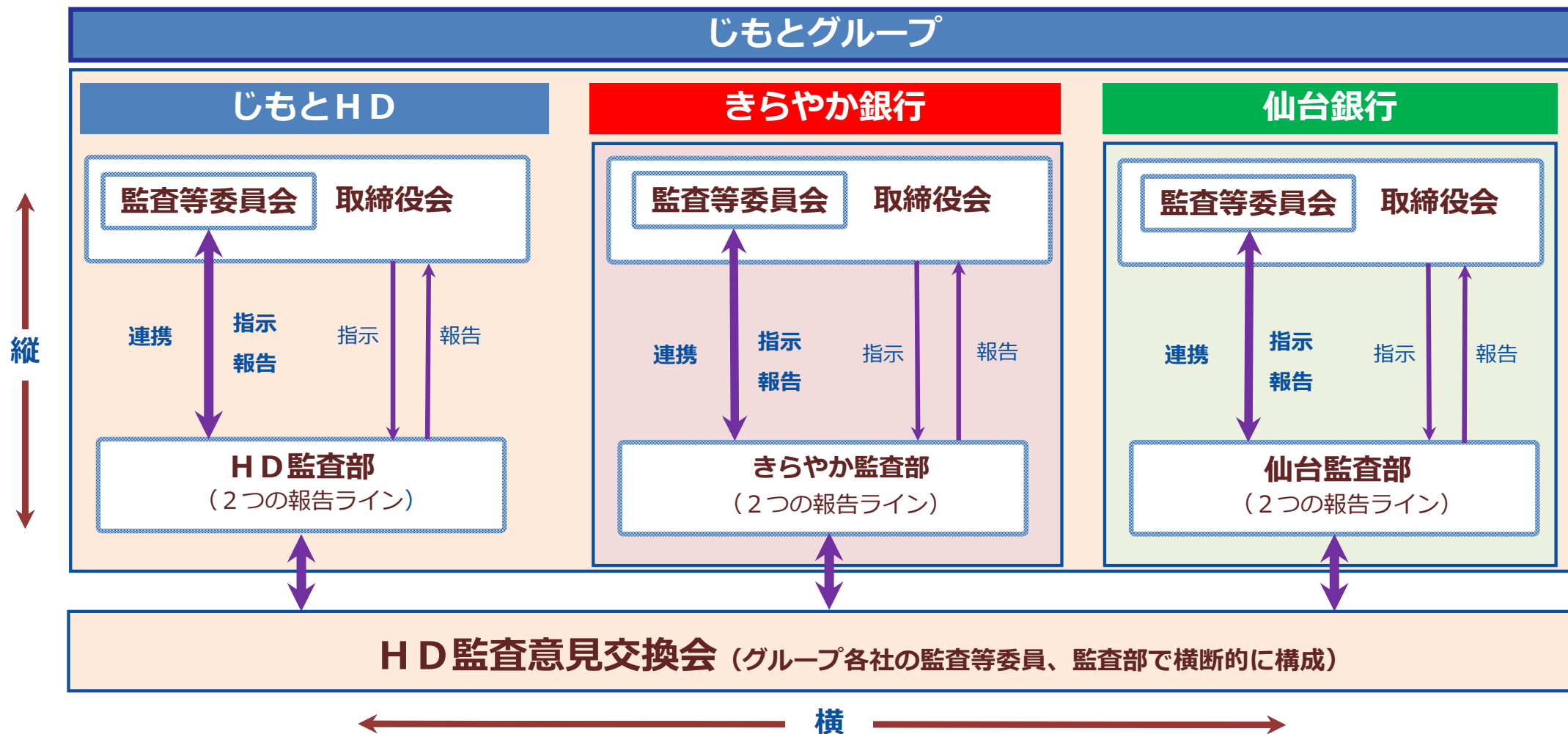


<仙台銀行> JGAP指導員資格を取得

地元企業応援部の職員が日本JGAP指導員資格(家畜・畜産物)を取得しました。「信頼される農場管理」、「作業者の安全確保と福祉」などに取組む農場が取得できるJGAP認証。お客さまがこの認証取得を目指す際等、指導員資格のある職員により、お客さまのサポート等の経営支援をすることが可能となりました。

2020年6月、きらやか銀行と仙台銀行が監査等委員会設置会社へ移行し、グループのガバナンスを強化します。

- HD監査等委員会は、子銀行を含めたグループ全体の内部管理体制の監視・監督をさらに強化いたします。
- 縦軸：各社の監査等委員会と監査部とのレポートラインを共通で確保します。
- 横軸：HD監査意見交換会を新設し、各社の監査等委員会と監査部の連携を深めます。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)
<https://www.jimoto-hd.co.jp>